

ごみを減らそう！～ダンボールコンポストを使って生ごみを堆肥化～

御笠の森小学校の4年生が、環境教育の一環として、「種から作る私たちの給食」と題し、生ごみで堆肥ができる「ダンボールコンポスト」に取り組みました。できた堆肥を使ってハウレン草を育て、給食でおいしく食べるまでの様子を追ってみました。

① はじめに

平成29年6月7日(水)

生ごみリサイクル講習会「ダンボールコンポスト講座」を開催。ダンボールを使って、生ごみを堆肥化する方法などを学びました。グループごとにダンボールコンポストに名前を付け、日当たりの良い廊下に置いて、投入する生ごみの量や温度を記録しながら観察しました。



② 堆肥の熟成を学ぶ

平成29年9月14日(木)

「ダンボールコンポストフォローアップ講座」では、生ごみがなくなるまでの「熟成の仕方」を学びました。



③ 栄養満点の堆肥が完成

平成29年10月中旬

6月7日から7月19日までに1箱あたり約25kgの生ごみを投入したのち、1カ月間の熟成を経て、栄養満点の堆肥ができました。

④ 地域の力を借りて

平成29年11月17日(金)

ダンボールコンポストでできた堆肥を土に混ぜ、地域の指導者のもと、ハウレン草の種を1cm間隔に一粒ずつ丁寧にまきました。



⑤ いよいよ収穫！

平成30年2月19日(月)

心待ちにしていた収穫の日。今年の冬は寒かったため、少し成長は遅かったけれど、4年生のお世話と、栄養満点の堆肥のおかげで、立派なハウレン草がたくさん収穫できました。

⑥ いただきます♪

平成30年2月21日(水)

収穫したハウレン草を「ハウレン草のクルミ和え」に調理し、御笠の森小学校の給食の一品として、みんなでおいしくいただきました。

また、4年生みんなで、ダンボールコンポストを使った堆肥づくりの体験や、ハウレン草を種から育てた体験を、給食時間の校内放送で、発表しました。



御笠の森小学校の4年生が、この体験を通して、「生ごみを堆肥化することで、ごみを減らすことができる」ということを学びました。私たち大人も「ごみになるものを減らす、繰り返し使う、リサイクルする」など、家庭ごみの減量に取り組みましょう！

●問い合わせ先 環境・最終処分場対策課廃棄物・最終処分場担当 ☎(580)1889